

純正カニガラ

20kg 入り P.P.袋

保証成分(%)
窒素： 4.0 リン酸： 3.0

・カニ殻肥料の効果

カニ殻肥料の最大の特長はキチン質(糖たんぱく質)を大量に含んでいる事です。多くのキチン質を含むカニ殻や節足動物の殻を土壌に加えると、キチン分解酵素を持った放線菌により土壌環境が改善され、健全な土壌にします。キチン質を多く含む土壌はフザリウム菌やリゾクトニア菌などの病原菌の繁殖を抑制し、これらの病原菌に起因する萎黄病、つる割病、苗立枯病などの予防、軽減効果が期待されます。

・連作障害の予防と軽減

日本の土壌は連作や化学肥料の多用、有機物の施用量の減少などで連作障害の出やすい土壌になっています。土壌中には様々な微生物が生息しており、地力が低下すると土壌微生物のバランスが崩れ、病原菌が異常繁殖して作物の生育に重大な影響を与えます。カニ殻フレークは多量のキチン質を含んでいる為、土壌中の有効微生物である放線菌、特にキチン質分解菌の繁殖を促します。キチン質分解菌はキチン質を分解する酵素を産出する為、キチン質を含む細胞壁で出来ているフザリウム菌などの病原菌の繁殖を抑制し、連作による病害の予防、軽減効果が期待されます。

・特長

1. 含有成分キチン質により連作障害や萎黄病、つる割病、苗立枯病などの予防軽減効果が期待されます。
2. 含有成分は緩効性で長期間、持続的に肥効を示します。
3. 石灰成分を多く含んでいるので、酸性土壌を中和し、肥料成分の吸収効率を高める効果が期待されます。
4. 含有成分が土壌の有用微生物の繁殖を促し、土壌の通気性や保肥力などの土壌環境改善効果が期待されます。

・施用方法

1. 元肥として施用する場合は、定植あるいは播種の2~3週間前に10a 当たり150~300kg(7~15袋)を施用し、土壌と良く混和して下さい。
※水稲の元肥には植付け45日ほど前に施用して下さい。
2. 元肥の他にも夏肥、秋肥あるいは中耕時の追肥としても施用出来ます。
3. 生育中の芝生の場合は単肥で全面施肥、または目土や他の肥料と併せて施用して下さい。

販売元

アンデス貿易株式会社

東京都千代田区神田司町 2-10

TEL:03-3256-6871 / Fax:03-3256-6875